

モノからものがたりへ

私たちの暮らしは、モノがあふれています。

でも、モノそれぞれの、世界の誰がどうつくったかという「ものがたり」を意識することはあまりありません。

その「ものがたり」を知り、フェア＝公正な関係を大切にするのがフェアトレード。フェアトレードを街ぐるみで応援する逗子でありたいと私たちは考えています。

「モノからものがたりへ」を合言葉に、フェアに世界とつながるまちづくりを目指します。

逗子フェアトレードタウンの会

逗子市フェアトレードタウン宣言

返子市は、都市宣言である「青い海と みどり豊かな 平和都市」という、いつまでも変わることのない理想像に基づいて、まちづくりを進めています。

平成 27 年度から 24 年間のまちづくりの指針を示した返子市総合計画では、政策の柱の一つである「新しい地域の姿を示す市民主権のまち」において、地域社会、さらには世界の一員として主体的に行動する市民主権のまちをつくることを謳っています。

そして、その中で、「世界とつながり、平和に貢献するまち」を掲げ、「逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします」と表明しています。

フェアトレードは、適正な価格で取引することを通じて、開発途上国の農家や小規模生産者、女性など、立場の弱い人々の自立を支援する国際協力であり、それは同時に、人権の尊重に資する平和活動でもあります。

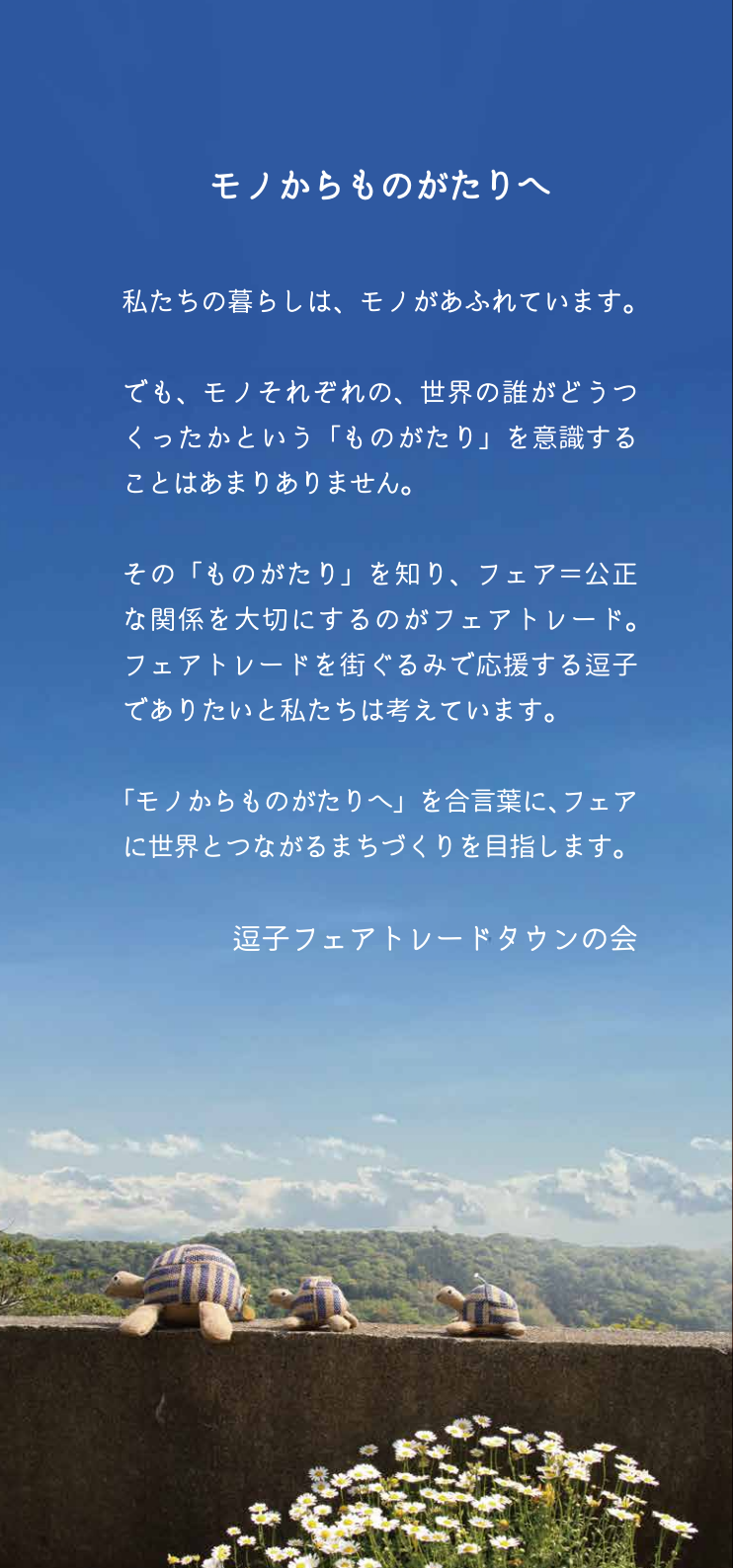
逗子市は、このフェアトレードの理念に共鳴し、市民や事業者とともに、その普及を通じて、世界の平和と発展に貢献するため、フェアトレードタウンをめざすことを、ここに宣言します。

2016年4月15日

逗子市長 平井 竜一

逗子市

発行 市民協働部（市民協働課市民協働係）
249-8686
神奈川県逗子市逗子 5-2-16
☎ 046-873-1111（代表）
✉ siminkyoudou@city.zushi.lg.jp
共著 逗子フェアトレードタウンの会



フエアトリー・トタウソ認定一周年記念イベント@逗子海岸



「これは、おもしろい。」

2002年にインドネシアから独立した東チモールでは、壊滅した産業の復興をめざしてNGOの支援のもと無農薬・有機のコーヒー栽培がおこなわれています。「豆子珈琲」は東チモールの人々の自立を応援しフェアトレードで輸入されたコーヒー生豆をベースに、地域で焙煎して製品化しています。アフリカ・ルワンダなどの豆をブレンドすることで、実直な飲みを残しつつも香り高くフ

「非唯咖啡」 01-11-11 11:11



<http://fttzuishievent.wixsite.com/fttzuishi>

「反子」は「反子」(FTZ)の会(FTZ)は「反子」を「反子」を通じて、世界とつながる平和なまちづくりをめざしています。主な活動は、世界の現状や「反子」を知るための講座や勉強会、市内映画館での「反子」映画祭、市民をモデルとした「反子」などを開催したり、高校生や大学生の活動を促進する「反子」・ユース・プロگرام」や年一回の「国際文化フォーラム」を「反子」と共催しています。また、「反子珈琲」や「反子」などの地場製品の開発にも取り組んでいます。一緒に活動してくれる仲間を募集しています！

공공기관에 대한 이해관계자 참여

[illegible]

市民団体、行政、企業、学校などがまちづくりフェアトレードを推進している自治体をフェアトレードタウンと言います。地域の人々がフェアトレードを知ること、世界に視野を向け、足元の暮らしを見つめ直すきっかけをつくります。

2000年にイギリスのガースタウンという小さな町で誕生し、現在はロンドンやパリといった大都市から、産地である開発途上国の小さな村まで世界で2036以上に広がっています（2018年1月5日現在）。日本では2011年に熊本市、2015年名古屋市に続いて、2016年7月に逗子市が国内で3番目、関東で初めてのフェアトレードタウンに認定されました。また、2017年には浜松市が4番目として認定されています。フェアトレードタウンとして認定されるためには、下記の6つの基準を満たす必要があります。

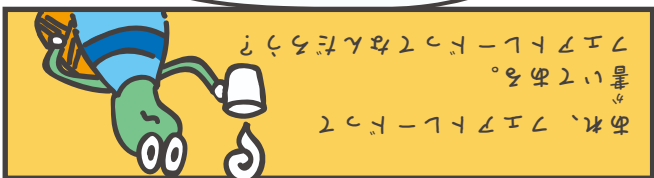
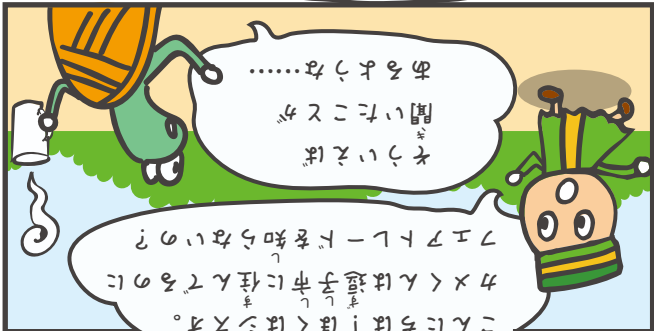
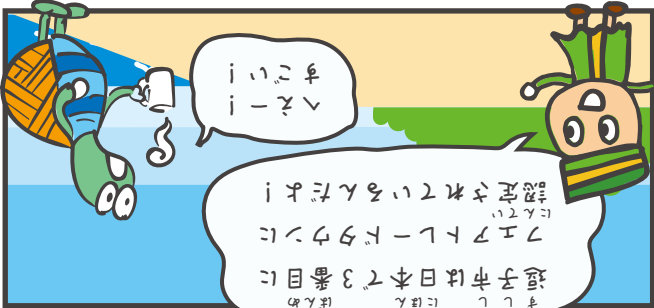
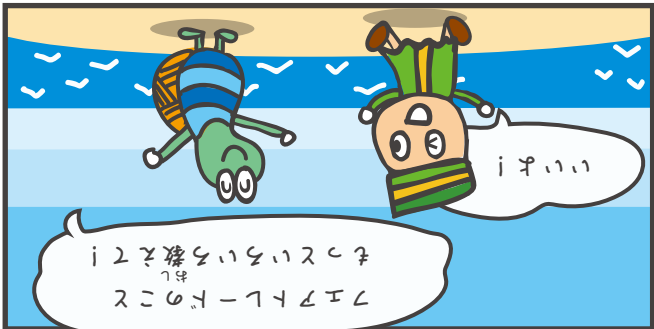
✓ (11f) ㄱㄴㄷㅌ-ㄱㅌㄷㅌ

- 1 推進組織の設立と支持層の拡大
- 2 いろんな活動がある！
(運動の展開と市民の啓発)
- 3 いろんな人が知ってる！
(地元の企業や学校への浸透)
- 4 FTで地域が元気になる！
(地域活性化への貢献)
- 5 地元でFT商品が買える！
(地域での幅広い提供)
- 6 市長や議会もFTを応援！
(自治体にも支持と普及)

그후의 우리

2017年5月に開催されたイベントをきっかけに、逗子市をフエ
アトリータウンにしようという市民による活動がスタートしま
した。市制60周年の2014年には、市と逗子フエアトリータ
ウンの会との共催で「国際文化フオーラム」が開催され、小學生
の絵を包装紙に使用した「逗子エコミュ」や市内店舗との協力によ
って「逗子珈琲」が作られフエアトリー商品を扱う店舗が増えま
した。フエアトリーの認知度調査でも高い結果がでたため、
2016年3月の市議会でフエアトリーを支持する決議が採択さ
れ、4月に市長によるフエアトリータウン宣言が出されました。
逗子市総合計画では「世界とつながり、平和に貢献するまち」と
いう将来像が掲げられています。

いす将来像が掲げられています。





フェアトレードとは？

現在の世界貿易では、商品の生産過程において自然が破壊されたり、生産者たちが危険な農薬を使って健康被害にあってもほとんど問われることはありません。フェアトレードは、開発途上国の農家や小規模生産者や女性など、立場の弱い人々の自立を、買い物を通して支援する国際協力活動です。公正な価格で引き取り、自然や伝統文化を大切に、児童労働などの労働環境に配慮しています。

すべての子どもたちに教育を

現在、世界の9人に1人の子どもたち（1億6,800万人）が、義務教育を受けられずに働かされたり、危険・有害な労働に従事させられています。しかし、生産品がフェアトレードの対象となって所得が向上すると、生産者の家族は子どもを学校に行かせたり、地域の学校づくりに取り組むことができるようになります。

10 Principles of Fair Trade フェアトレードの10基準

- 1 生産者に仕事の機会を提供する**
社会的に弱い立場に置かれた小規模の生産者が不安定な収入や貧困から脱し、経済的に自立することを支援します。
- 2 事業の透明性を保つ**
経営や取引における透明性を保ちます。すべての関係者に対し説明責任を果たし、参加型の意思決定を行います。
- 3 公正な取引を实践する**
バイヤーと生産者は、連帯と信頼に基づき長期的な取引を行います。小規模生産者が社会的・経済的・環境的に健全な生活ができるよう配慮して取引し、また要望があればバイヤーは生産者に代金を前払いします。
- 4 生産者に公正な対価を支払う**
生産者に対し、その活動地域の基準で社会的に受け入れられ、生産者自身が公正だと考える価格を支払います。公正な対価とは関係者全員の合意により決定されるものです。
- 5 児童労働および強制労働を排除する**
生産過程での強制労働を許さず、国連の「児童の権利に関する条約」および子どもの雇用に関する国内法や地域法を順守します。生産に子どもが関わる場合はすべて公開・監視の上、子どもの健全な生活や安全、教育、遊びに悪影響を及ぼさないようにします。
- 6 差別をせず、男女平等と結社の自由を守る**
雇用や賃金、研修の機会などにおいて、人種や社会階級、国籍、宗教、障害、性別や政治的信条など、あらゆる面において一切の差別をしません。男女に平等の機会を提供し、特に女性の参加を推進します。また、結社の自由を尊重します。
- 7 安全で健康的な労働条件を守る**
生産者が安全で健康的な環境で働くことができるよう、現地の法律やILO（世界労働機関）で定められた条件を守ります。また、生産者団体における健康や安全性についての意識の向上を継続的にを行います。
- 8 生産者のキャパシティ・ビルディングを支援する**
立場の弱い小規模な生産者に、ポジティブな変化をもたらすことができるよう努めます。生産者の技術や運営などの「能力強化」を図り、市場へアクセスできるよう支援します。
- 9 フェアトレードを推進する**
フェアトレードの目的や必要性をより多くの人に知ってもらうよう啓発します。また、消費者に対して販売者や生産者、商品の背景にある情報を提供し、誠実なマーケティングを行います。
- 10 環境に配慮する**
生産地で持続的に採れるものなど、持続可能性を考えて、エネルギーの消費と二酸化炭素の排出が少ない生産を行います。

もっと教えて！フェアトレードのこと

Q フェアトレードにはどんな商品があるの？

A 食品、衣料品、クラフト類までいろいろあります

コーヒー、紅茶、バナナ、チョコレート、砂糖、ワインなどの食品や、オーガニックコットンのTシャツ、生産地の伝統文化を生かした衣類やバッグなど。ほかにも、サッカーボールや石けん、生花など、商品の種類は広がっています。



Q フェアトレード商品を探す方法は？

A ラベルのついた国際認証品が目印です

世界フェアトレード機関（WFTO）および国際フェアトレードラベル機構（フェアトレードインターナショナル / FI）のラベルがついた商品は国際認証を受けたものです。認証を受けていなくても、WFTOの10基準やFIの基準に準拠して活動し、情報公開しているものはフェアトレード商品といえます。ラベルがついていなくてもフェアトレードの理念に基づきつくられている商品は多くあります。

Q 買ったなら誰かの役に立つの？

A 商品や材料の作り手たちの自立支援になります

フェアトレードは途上国の農家・弱小生産者・女性など、疎外された人々の自立支援を目的とする活動です。現地の生産者と長期的に付き合いつつ、技術移転や商品開発なども一緒にを行います。また、取引先の生産者団体にソーシャル・プレミアム（奨励金）を提供します。これらが貯まると皆で話し合い、学校や診療所や通学路の整備など、コミュニティ開発にも使います。



Q どこで買えるの？

A 逗子市内にもいろいろあります！

全国各地にフェアトレード専門店があり、スーパーや地元店舗でも販売されるようになってきています。逗子市内にもフェアトレード商品を販売する店舗が増えています。逗子市内のフェアトレード取扱店の位置は逗子フェアトレードタウンの会よりご確認ください。



マップは逗子市／逗子フェアトレードタウンの会のWebサイトよりダウンロード可

Q フェアトレードを応援するために何をすればよいの？

A イベントに参加したり、身近な生活に取り入れてみましょう！

5月のフェアトレード月間に世界各地で開催されるイベントや、逗子市で毎年開催している「国際文化フォーラム」、巡回展示などに参加することで、開発途上国の人々の暮らしや地球環境と私たちの暮らしとのつながりを深く理解することができます。知ったことを友達に伝えたり、買い物の選択肢の一つにフェアトレード商品を取り入れたりすることで、フェアトレードの輪が広がっていきます！



エシカル・ファッションショー（左）、市役所1F喫茶店のウェルフェア（福祉）＆フェアトレード・コーヒー（右）

もっと知りたいフェアトレード

フェアトレード・ラベル・ジャパン

国際フェアトレード認証ラベルのライセンス業務、フェアトレードの普及啓発活動を行うNPO法人です。
web <http://www.fairtrade-jp.org>

日本フェアトレード・フォーラム

「フェアトレードタウン運動」をはじめ、国内でのフェアトレードの普及を目指す団体です。
web <https://www.fairtrade-forum-japan.com>



国際フェアトレードラベル機構のロゴマーク



世界フェアトレード機関のロゴマーク